

大東市立歴史民俗資料館 市民学芸員REPORT

楽しく自信につながる終活中 市報の「募集記事」で人生急旋回

松井健一さん
氷野1丁目在住

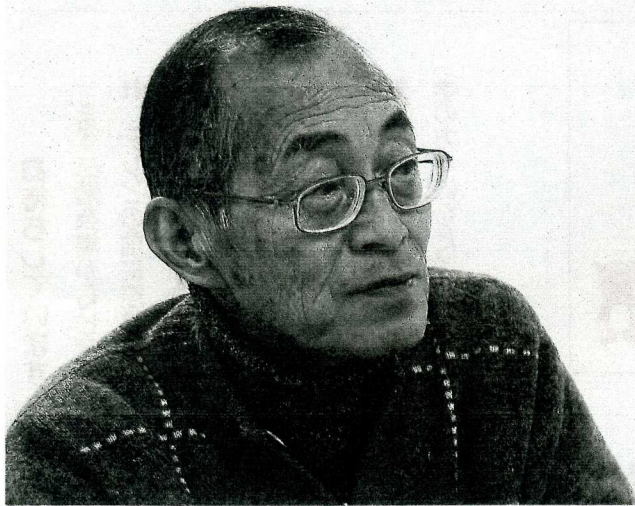
市民学芸員の連絡会が発足し、初代の「会長」松井健一さんに登場願ひ、日頃聞く機会のなかった生活の一端についてお聞きしました。お話しは「終活」でしたが、人生のゴールを見据えての話どころか、挑戦的な、将来に向かっての抱負になったようです。

・市民学芸員展の準備作業、世話役として今回は何かとご苦労されたのではと思いません。ところで松井さんは写経をずっとされているとうかがいました。写経は続けています。毎朝5時に起床して、ネットでニュースをみて朝ごはん、そのあと大体八時半頃から写経を始め一日が始まる。もう朝の習慣のようになってるかな。

・いつ頃から始めて、またきっかけは何ですか？
平成21年の秋に会社を退職して、その直後から始めたけど、きっかけは単純で、まず経典のような凛とした字に憧れがあったし、何かに集中したかったし、

ちょっとオーバーにいうと、なにか人生の足あとみたいなものを残したかった。い

わたしは市民学芸員



「いまや、土器は煎じて飲めるほどになった」と松井健一さん

ま、終活（人生の終わりのための活動）の時期にあると意識し始めたから。今まで写したものは全て取り置きしていて、始めたころのものを見返すと「あ、ずいぶん上手くなったもんだな」とちょっとした自分史を感じてみたりもする（笑）。

いくんじゃないかな。年を重ねてから生きて地獄をみるのもいやだから、メリハリをつけて摂生に努めようと思ったし、これからも続けていこうと思う。

・平成21年の4月から市民学芸員講座は始まりましたが、当初は仕事をしながらの受講だったんですね。

退職の半年以上前から、退職後の身のふり方を考えはじめ、まずは大東市に住もう！と思った。郷里が静岡で名古屋勤務が一番長かったけど、大阪にいちばん思いがあったので。大東市に住むと決めた以上、このまちを好きになろう、そのためにはまずこの地域を知ることが大事だと思った。そんな折にまたま市報をめぐっていたら見つけた。

・市民学芸員講座！？
そう。だから最初は大東市を知る手段として講座に参加したにすぎなかった。「市民学芸員」って聞きなれない言葉だったし、初めはとまどうことも多かった。

見学会 古堤街道を

歩こう

申し込み受付中

お早目に

「古堤街道」とは大東市のど真ん中を東西に通じ奈良に至る、大東の歴史を体感できる道です。市民学芸員と一緒に歩いてみませんか。

日時 3月10日（日）午後1時～
集合場所 JR鴻池新田駅改札口前
解散場所 住道駅
参加費 100円 定員 30名

大東市立歴史民俗資料館まで
☎072-876-7011

例えば考古学の話では、笠井館長が土器をもって解説してくれて、「さわってみてください」って言われたけど正直触りたいとは思わなかった。

（以下次頁につづく）

